

平成6年3月

第5号

仙台市連合町内会長会
市連長会だより

題字は藤井仙台市長



若林区文化センター (若林区南小泉一丁目1番1号)

目 次

あいさつ.....

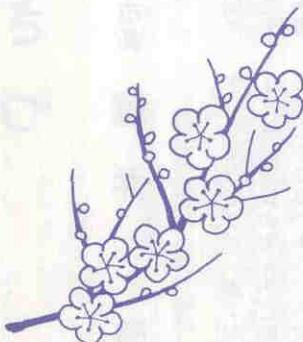
仙台市連合町内会長会

会長 早川 五兵衛

仙台市長 藤井 黎

区連協活動状況.....
③ ⑧他都市の自治組織見聞記.....
⑧ ⑨仙台市連合町内会長会
庶務理事 斎藤 三郎新しい杜の都づくり
市民協議会について.....
⑨ ⑩

会長 石田 名香雄

市連長会の活動.....
⑩ ⑩編集後記.....
⑩



ごあいさつ

仙台市連合町内会長会会長
早川五兵衛



ごあいさつ

仙台市長
藤井黎

黎

日頃町内会長さんには、地域活動の指導者として、地域の発展と福祉向上にご尽力を賜り心から感謝を申し上げます。

昨年は、異常気象によって、水稻を中心には被害が発生し戦後最悪の作柄となりました。これに追い打ちをかけるように長引く不況がかなり、景気が低迷し市民生活に大きな影響を受け誠に厳しい一年でございました。

また、政治不信を招きました不祥事が発生し、前市長が逮捕

という市政への信頼を大きく失われたことは、誠に残念なりません。再びこのようないふ事事が起きないように、市民一人一人が広い視野に立って、知恵を出し合い、行政側そして議会側と私たち市民側がそれぞれの役割をもつて市政への参加が必要であり、監視機関の強化をはかりながら仙台の信頼回復と汚名を返上して行かなければなりません」と念願しております。

仙台市の再生に向かつて藤井市長を迎えたわけでございます。本年はスタートの年であります。

藤井市長が、まちづくりの理念としております「すこやか」「ぬくもり」「たくましさ」の実現に向かっての邁進が見られるところでございますが、仙台市におきましては、地域別の均衡ある基盤整備や高齢化への対応、福祉の充実、環境問題など大きな課題を抱えております。こうした課題を実現するためには、市民と行政側が一体となって新たなまちづくりを推進して行かなればならないと思います。

都市化が進みますと地域のつながりが希薄化されてまいります。このような中で、町内会活動は地域住民のコミュニティ活動の輪が大きく広がる重要な役割を担つておるわけでございます。どうか各地区におかれまして、町内会活動が強化に尚一層の協力を賜りますようお願いを申し上げますと共に、各町内会の発展と、皆様方のご健康を心からご祈念をいたしまして、私があいさつといたします。

このように、市長会は、仙台市の再生に向かつて藤井市長を迎えたわけでございます。本年はスタートの年であります。

仙台市連合町内会長会のみなさまには、日頃から、地域住民の福祉向上と、地域発展のためにご尽力を賜っております。ことに対しまして、市民を代表しこそから厚く御礼申し上げます。

遠い存在に思えた二十一世紀も間近にせまり、高齢化や国際化が急速に進展する社会を想像しますとき、ある種の期待感と不安感が交錯し、来るべき社会の確固たる基礎を築く重要な時期を迎えた感を強くします。

振り返れば、昨年は非常に波乱に満ちた年でございました。

異常気象による百年に一度という大冷害、長引く不況、そして中央政界の再編など、まさに近年稀にみる激動の年であったと思います。

行政的に対応し、「財」在宅福祉サービス公社の設立、痴呆性老人対策としての「老人痴呆疾患センター」の設立、「若林区文化センター」のオープンなどの事業を進めてまいりました。

今年は、二十一世紀に飛躍する仙台の想像に向けて最大の努力を払い、まちづくりの理念である「すこやか」「ぬくもり」「たくましさ」の実現に努め、「希望に満ちた仙台づくり」を進めています。

市長への積極的な市民参加によって、一層透明で公平な市政を推進するとともに、安全、快適で住みよい市民生活の確保に努めてまいります。

また、長寿社会を先取りした高福祉都市づくりに力を注ぎ、引き続き「福祉の街づくり事業」を推進してまいります。

さらに、各種都市基盤の整備や都市機能の集積、拡充などに努めると同時に、本市の特性を生かした各種産業の振興や国際化、情報化など、新しい時代の積極的な対応を図つて

いる所存でございますが、何より地域住民の方々のご理解とご協力が必要であり、行政と住民の架け橋として経験豊富な貴会長会の皆様を始め、各町内会長さん方の一層のご協力、ご尽力を賜りますようお願い申し上げる次第でございます。

最後になりましたが、仙台市連合町内会長会の益々の発展と皆様のご健康をお祈り申し上げあいさつといたします。

青葉区



く住みよいづくりに努力しているところであります。

新任町内会長研修会

青葉区管理課長 真壁 桂三 氏

○町内会の役割について

青葉区連協理事 品川 八一 氏

会場 幸福報恩会館

日時 平成5年10月6日

参加者 一八七名

会場 赤生木集会所

日時 平成5年11月29日

主な懇談内容

市道及橋の整備・荒巻公園の整備・カーブミラーの設置・他

○上小学区連合町内会

場所 荒巻コミュニティセンター

雨水受樹の整備・荒巻公園の整備・カーブミラーの設置・他

○地域活動における女性企画

場所 赤生木集会所

※主な懇談内容

市道の整備・街路灯の維持管理・国道の側溝整備・他

○大沢小学区連合町内会

場所 大沢市民センター

※主な懇談内容

市道の整備・旧県道宮城大和線拡幅工事・他

○東六地区町内会連絡協議会

日時 平成6年1月25日

場所 キリンビール不動産部

※主な懇談内容



会長(新任)研修会

婦人研修会

女性の社会の各分野における活動は、めざましいものがありますが、意志決定の場への参画というとまだ不充分な状況にあります。仙台市では、女性問題の解決と男女共同参画型社会の形成へ向け、「仙台市女性行動計画」を策定し、積極的に取組にあります。一方、町内会活動その他の、様々な地域活動が活動その他の、様々な地域活動が活動を行われてますが、これらの活動を支えているのは女性の力に負うところが非常に大きいものがあります。ただ、女性の場合、なかなか責任ある立場に立つことを避ける傾向にあります。今回、講師としてお招きしたお二人は、女性として、それぞれの分野の責任あるお立場

女性の社会の各分野における活動は、めざましいものがありますが、意志決定の場への参画というとまだ不充分な状況にあります。仙台市では、女性問題の解決と男女共同参画型社会の形成へ向け、「仙台市女性行動計画」を策定し、積極的に取組にあります。一方、町内会活動その他の、様々な地域活動が活動を行われてますが、これらの活動を支えているのは女性の力に負うところが非常に大きいものがあります。ただ、女性の場合、なかなか責任ある立場に立つことを避ける傾向にあります。今回、講師としてお招きしたお二人は、女性として、それ

女性の社会の各分野における活動は、めざましいものがありますが、意志決定の場への参画というとまだ不充分な状況にあります。仙台市では、女性問題の解決と男女共同参画型社会の形成へ向け、「仙台市女性行動計画」を策定し、積極的に取組にあります。一方、町内会活動その他の、様々な地域活動が活動を行われてますが、これらの活動を支えているのは女性の力に負うところが非常に大きいものがあります。ただ、女性の場合、なかなか責任ある立場に立つことを避ける傾向にあります。今回、講師としてお招きしたお二人は、女性として、それ

女性の社会の各分野における活動は、めざましいものがありますが、意志決定の場への参画



婦人研修会

平成5年度地域懇談会

○桜ヶ丘学区連合町内会

日時 平成5年10月13日

場所 桜ヶ丘コミュニティセンター

※主な懇談内容

歩道、遊歩道上の街路樹の剪定・市街灯の新設・半子町線

アスファルトの傾斜・他

医療と福祉が連携した施設整備・道路の側溝整備の促進・他

水の森公園の整備計画・他

○地域環境整備事業について

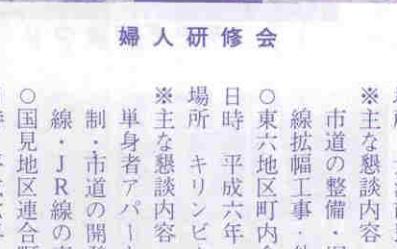
○青葉区市民生活課長 藤井猛氏

○青葉区連合町内会長協議会 会長伊藤馨

○青葉区連合町内会長協議会 会長伊藤馨

○青葉区連合町内会長協議会 会長伊藤馨

○青葉区連合町内会長協議会 会長伊藤馨



婦人研修会

平成5年度地元懇談会

○青葉区連合町内会長協議会 会長伊藤馨

日時 平成5年1月28日

場所 国見コミュニティセンター

※主な懇談内容

歩道、遊歩道上の街路樹の剪定・市街灯の新設・半子町線

アスファルトの傾斜・他

医療と福祉が連携した施設整備・道路の側溝整備の促進・他

水の森公園の整備計画・他

○地域環境整備事業について

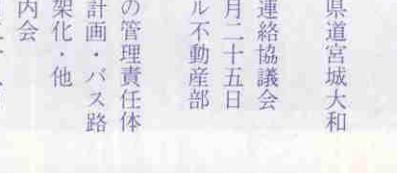
○青葉区市民生活課長 藤井猛氏

○青葉区連合町内会長協議会 会長伊藤馨

○青葉区連合町内会長協議会 会長伊藤馨

○青葉区連合町内会長協議会 会長伊藤馨

○青葉区連合町内会長協議会 会長伊藤馨



婦人研修会

平成5年度地元懇談会

○青葉区連合町内会長協議会 会長伊藤馨

日時 平成5年1月28日

場所 国見コミュニティセンター

※主な懇談内容

歩道、遊歩道上の街路樹の剪定・市街灯の新設・半子町線

アスファルトの傾斜・他

医療と福祉が連携した施設整備・道路の側溝整備の促進・他

水の森公園の整備計画・他

○地域環境整備事業について

○青葉区市民生活課長 藤井猛氏

○青葉区連合町内会長協議会 会長伊藤馨

○青葉区連合町内会長協議会 会長伊藤馨

○青葉区連合町内会長協議会 会長伊藤馨

○青葉区連合町内会長協議会 会長伊藤馨

▽新しい杜の都づくり宮城野区
連合町内会長協議会 平成五年度活動状況

宮城野区連合町内会長協議会の今年度の活動は、4月21日三文において総会を開催し、席上会長以下役員全員の留任を全会一致で決定し、今年度の活動を開始しました。

▽市長を囲む懇談会の開催

総会終了後引き続き懇談会を開催し、平成5年度の宮城野区における主要事業に關し、仙石線連続立体交差事業や高砂市民センター建設事業など全般に亘り説明を受け、活発な質疑をかわし盛況裡に終了した。

▽青葉まつりへの参加

5月16日第9回青葉まつり時代行列の宮城野区の今年の役割

は、「仙台松川だるま」、連合町内会より各地区連合会長へ参加者の推せんを依頼し、各連合町内会から推せんを受けた男性14名、

宮城野区



女性8名、総勢22名で、市役所から東一番丁へとにぎにぎしくなり歩き大いに祭りを盛り上げた。

▽新しい杜の都づくり宮城野区 協議会への参画

これから仙台市のまちづくりへの市民総参加をめざし、全市の各種市民団体により4月28日新しい杜の都づくり市民協議会が設立された。これを受けて

設立準備会を経て6月1日「新

しい杜の都づくり宮城野区協議会」が区内百数十団体により設立の運びとなつた。区連協は発起人会から区内市民団体の中核として参画し、協議会長には区連協会長が就任し、又各地区連合会長も理事に就任するなど区協会運営に大きな役割を占めることとなつた。

▽東北電力との懇談会

東北電力仙台営業所からの呼びかけにより6月22日懇談会が開催された。各連合町内会より2名参加の上、東北電力仙台火力発電所を見学の後、東北電力仙台営業所長以下幹部の方々と町内会設置の街路灯、防犯灯などの維持管理上の問題について熱心な話し合いが行われた。

▽移動研修会の実施

例年開催されている恒例の移動研修会が10月5日各連合町内会39名の参加の上実施された。

今年は新井 俊の若林区文化

センターを見学し、ホテル、図書館、会議室等充実した内容に感銘を受け、宮城野区文化センターの早期建設を参加者一同大いに祈念した。又毎日の市民生活とのかかわりの深い仙台市中央卸売市場、農業園芸センター等の施設見学を行い、終了後各連合会の交流を願い懇親会を実施した。

▽第五回み・や・ぎ・の・

▽まつりへの開催協力

新しい杜の都づくり宮城野区協議会主催による第五回み・や・ぎ・の・まつりが10月17日(日)、快晴の榴ヶ岡公園において開催された。宮城野中ブラスバンドによるファンファーレ合団に開会式が行われ、数十羽のハトが大空に飛び立ちパレードが開始された。宮城野小マーチングバンド、常盤木学園高校、P.L.バントン、ワーリング、東北高校マーチングバンドに大きな拍手がわき上がった。パレード終了後、落語家桂才賀師匠の総合司会による区民ステージでは青麻神楽などの地域芸能、新田文化振興会の創作太鼓、榴ヶ岡市民センターで練習に励んでいる榴ヶ岡三世代合唱団などによる熱演が続いた。



みやぎのまつり

△新年交流会の開催

恒例となつてある新年交流会が今年も1月20日、宮城第一ホテルオリオンの間に開催された。これは区内13連合町内会の相互交流、情報交換、懇親を行なうべく毎年1月に開催されるものである。今年も各連合町内会から3名の参加を得て、守屋助役さん、砂金区長さん等のご来賓を迎えて、不況、冷害、長雨など暗い一年であった昨年となるよう明るい希望に満ちた年に異なる参加者一同心から願い散った。

▽定例会の開催

平成6年1月25日
宮城野区連合町内会長協議会 会長 永田百男
ス大会など各コーナー広場毎に隔月第三木曜日に各連合会長参加による定例会を開催し、区連協運営の全般に関し、意見交換の上、区連協の運営に当つている。





若林区

出決算報告
平成5年度事業計画、収入支
出予算について

原案通り承認されました。

役員の承認、選任について
原案通り承認されました。

二、新しい杜の都づくり若林区
協議会設立総会への参加につ
いて

5月27日、住みよく魅力に満
ちた理想のまち「若林区」をめ
ざした、新しい杜の都づくり若

林区協議会の設立総会を開催し
若林区連協が中心となつて、準備を進めてきたものであります。

総会には、各種団体などの代表
が多数出席されました。
会長には、佐藤文也若林区連
協会長、又、全理事事が役員とし
て就任しました。

一、平成5年度区連協定期総会
開催
4月28日、伊藤区長ほか、多
数の来賓を迎え開催されました。
平成4年度事業報告・収入支

活動について

若林区連合町内会長協議会、
平成5年度の主な事業活動につ
いて、開催順に紹介させていた
だきます。

一、平成5年度区連協定期総会 開催

4月28日、伊藤区長ほか、多
数の来賓を迎え開催されました。

平成4年度事業報告・収入支

金について

7月29日開催された理事会に
おいて、かつて宮城県沖地震の
さい、全国の方々から数多くの
励ましの見舞金等が寄せられ、
再建の大きな力となつたことを
教訓として、単位町内会へ呼び
かけ、見舞金を贈ることにしま
した。その結果、各町内会の協
力により、一四五万円余の見舞
金が寄せられ、9月11日佐藤会
長、早坂、山田両副会長がNH
K仙台放送局を訪ねて見舞金の
寄託を行いました。

四、町内会長移動研修会開催
8月26日、町内会長一一三名



昼食後は、各施設を視察し、
その後ぶどう狩りを行い有意義
な研修会の一過ごすことが
でき、参加町内会長より大へん
好評をいただきました。

5回「若林区民ふるさとまつり」
に対し、区連協として、全面的
に協力しました。

六、区連協理事の研修会につ いて

始めて、元和4年（一六一八）
建立の慈恩寺を参詣、次にチエ
リーランドさがえに行き、食堂

で昼食をとりながら、町内会の
現況などさまざまな問題を互い
に情報交換などを行なながら親
睦を深めました。

12月16日、区連協理事研修会
を実施しました。

若林区連協の 活動について

若林区連合町内会長協議会、
平成5年度の主な事業活動につ
いて、開催順に紹介させていた
だきます。

一、平成5年度区連協定期総会 開催

4月28日、伊藤区長ほか、多
数の来賓を迎え開催されました。

平成4年度事業報告・収入支

金について

7月29日開催された理事会に
おいて、かつて宮城県沖地震の
さい、全国の方々から数多くの
励ましの見舞金等が寄せられ、
再建の大きな力となつたことを
教訓として、単位町内会へ呼び
かけ、見舞金を贈ることにしま
した。その結果、各町内会の協
力により、一四五万円余の見舞
金が寄せられ、9月11日佐藤会
長、早坂、山田両副会長がNH
K仙台放送局を訪ねて見舞金の
寄託を行いました。

四、町内会長移動研修会開催
8月26日、町内会長一一三名



七、市長・区長を囲む懇談会の
開催について

この懇談会は、区連協設立か
ら毎年の行事であり、今回が5
回目。各連合町内会の諸問題及
び市政・区政について、懇談内
容であり、本年度は、平成6年
3月中旬に開催する予定にして
います。

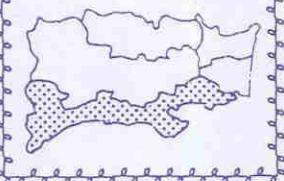
以上が、若林区連合町内会長
協議会の平成5年度の主な活動
状況と今後の予定であります。

若林区連合町内会長協議会
会長 佐 藤 文 也

五、「若林区民ふるさとまつり」 開催へ協力

10月23・24日、若林区民ふる
さとまつり実行委員会主催の第

太白区



平成五年度 太白区連協の歩み

太白区では、長町副都心整備、長町折立線等道路交通網の整備、富沢旧石器の杜公園、区文化センター、音楽堂の建設促進など太白区の豊かな自然と調和・共生する21世紀にふさわしいまちづくりに取り組んでいます。

区連協としては、新しい時代の流れを的確に見すえ、地域の人々のコンセンサスを得ながらお互いに住んでよかったたと言いえるようなまちづくりをめざして、区内8地域において地区連合町内会主催による地域懇談会を開催し、行政と一緒に活動を展開してまいりました。

5年5月16日
恒例の青葉まつりが開催され区連協から多数参加し「支倉遣欧使節団」の時代行列を実施。

5年5月31日
新しい杜の都づくり太白区協

区連協移動研修会を開催。川崎町歴史民俗資料館を見学の後、釜房湖畔ドライブインで尾崎区長さん他幹部職員の出席を得てまちづくりについて研修を行った。

太白区民ふるさと創生事業実行委員会を解散し、新たに同協議会が結成され早川区連会長が同会長として、その他の連合会長が理事として参画し、これからが広範なまちづくりの中核として活躍することになった。

議会が結成された。これまでの太白区民ふるさと創生事業実行委員会を解消し、新たに同協議会が結成され早川区連会長が同会長として、その他の連合会長が理事として参画し、これからが広範なまちづくりの中核として活躍することになった。

5年6月10日
途中、二本松市を訪問。二本

松市ふるさと振興公社が建設した安達ヶ原ふるさと村を見学し、まちづくりの説明を受け大いに参考になった。

5年10月17日
第5回太白区民ふるさとまつり(本まつり)が開催される。

早川区連会長はじめ各連合会長が参加し、まつりの運営に大活躍し大いに盛り上げた。

5年10月8・9日
福島県新野地温泉を会場に、尾

崎区長さん他幹部職員の出席を得て太白区



第5回太白区民ふるさとまつり (区役所前)

5年11月8日

区連協移動研修会を開催。

川崎町歴史民俗資料館を見学の後、釜房湖畔ドライブインで尾崎区長さん他幹部職員の出席を得てまちづくりについて研修を行った。

以上が平成5年度の主要な活動であります。今後ともすこやかでぬくもりのあるたくましいまちづくりのため、行政と一体となつて努力してまいりたいと存じます。

秋保地区において、守屋助役、尾崎区長さん他幹部職員出席をいただき懇談を兼ね研修を行つた。

6年1月18日

太白区においては、地区町内会連合会の主催による地域懇談会を平成5年9月～平成6年1月にわたり各地区において市民センター等を会場に8回開催されました。

地域懇談会の開催状況
太白区連合町内会長協議会 会長 早川 五兵衛



中田地域懇談会

進、市道等生活道路の整備、下水道の普及促進から市民生活に直結したさまざまな課題について懇談し、住みよいまちづくりのため大きな成果をあげております。

以上が平成5年度の主要な活動であります。今後ともすこやかでぬくもりのあるたくましいまちづくりのため、行政と一体となつて努力してまいりたいと存じます。

泉 区



泉区連協

平成5年度 活動状況

泉区連合町内会長協議会は、今年度新たに1連合町内会の設立があり、平成6年1月現在25連合町内会そして154単位町内会で組織運営がなされています。

次に、平成5年度の活動内容について、開催順に紹介させていただきます。

▽総会までの役員会

4月と5月の3回開催され、各種団体から要請のあった役員選出・総会の開催・泉区新旧次長等の歓送迎会の開催について協議しました。

▽歓送迎会

5月7日、泉区次長等職員の人事異動に伴う歓送迎会が一力鮭泉店において開催されました。

出席は、泉区より7名、連合町内会長21名でした。

▽「仙台・青葉まつり」本まつり参加



七北田公園河原敷でのアユ放流会



仙台・青葉まつり「時代行列」に参加

「時代行列」連合町内会長15名が参加しました。

▽総会
6月7日、平成5年度総会が開催されました。

総会に先立ち、泉区連協の会員として区連協の振興発展に寄与し、平成4年4月1日以降退会された6名の方々の表彰が行われました。

引き続いて、来賓祝辞・来賓紹介・新規加入及び変更の会長さん方の紹介をいただいた後、協議に入りました。

提出議案の4件については、原案どおり承認され、その後2年に一度の役員改選となりましたが、その選考方法は次のとおりです。

まず、区内を5つのブロックに分け、各ブロックから1名ずつ選考された選考委員5名による新役員8名の選出・承認という方法です。

役員のうち6名は再任で、2名は新任でした。

▽総会後の役員会
4回開催され、連合町内会長及び単位町内会長運動研修会の開催・5年度前期と後期2回の会報発行・要望書提出等について協議しました。

6月30日、泉区社会福祉協議会へ要望書を提出しました。その内容及び7月20日付け送付された回答書を次にお知らせします。

〔望書〕
地区社会福祉協議会設立に伴う設立資金並びに設立後の運営資金の助成について

初夏の候、貴台にはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素、区連合町内会長協議会活動及び運営にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

当協議会も本年4月に泉ビレジ館連合町内会が設立加入し、二十五団体、単位町内会百五十団体となり、市民の手による住みよい街づくりを目指して努力をいたしていいるところでございます。

さて、過般ご要望いただきました「地区社会協同運営資金」につきましては、予てより本会においても検討を重ねてきたところです。

本会の財源は、その殆どが委託料や補助金で占められており、それでもございます。

唯一の自主財源は、皆様方からの会費と共同募金配分金からになつております。まだまだ充分とはいえない現状にあります。役員会の審議にもとづき、結成された初年度に特別助成金として一地区三万円を交付することになりました。

このようないく姿勢が重要であるとの考え方から、それらの拠点として「地区社会福祉協議会」の設立を提唱されております。

私どもも、その意を体し、地区社会福祉協議会の設立に向けて努力をしてまいりましたところでありますが、どうしても設立資金と運営資金が必要であり、各町内会の予算のみでは、資金面に支障をきたしている状況でござ

いますので、事情をご覧察のうえ助成につき特段のご配慮を賜りますようお願い申しあげます。

〔回答書〕

地区社会協同運営に係る「要望」について

本会の事業推進につきましては、常々格別なるご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

▽泉区選出県議会議員との懇談

とかく区連協との接觸の機会が少なくなった、区選出県議3名との顔合わせと情報交換をしようと、7月27日泉区南中山において区連協会員18名の出席のもと開催されました。



泉区選出県議団との懇談会

▽今後の活動

研修は、「これからの地域福祉について」と題して、東北福祉大学教授小松洋吉先生のご講話をいたしました。
▽連合町内会長研修会
11月29・30日、牡鹿町鮎川のホテルニューサカヰにて開催されました。出席者は、連合町内会長20名と泉区長他6名の27名でした。

単位町内会長研修会
(松島町ホテル壮観)

他都市の自治組織見聞記

仙台市連合町内会長会

庶務理事 斎藤三郎

今回、人口四五万人の金沢市と人口三五万人の福井市を紹介することにします。

費(含む人件費)は地元二五%他は市が負担している。

3単位町会(一、二、三、四)

平均世帯数は九〇・一〇〇世帯であるが、大は一、〇三〇世帯から小は二世帯のところもある。

二、運営助成金等

市町会連合会に対し、事務職員二人配置

1金沢市町会連合会(全市)
中央公民館内に事務局を置き、
2校下町会連合会(六〇)
仙台市の地区町内会連合会や
と同じで、連合会毎に地区公
民館を持ち事務員を任用し、
ことを拠点に活動する。

昨年までは市長からの感謝状のみでしたが、今年度か
ら地区公民館の建設費、運営費も
負担金のためである。この

ら永年勤続連合会長、単位町会長は表彰、退任会長(四年勤続者)には感謝状とした。

四、行政連絡員

二〇年程前革新市長の時代に五〇〇名の行政連絡員を選任し町会の仕事をさせていた

が、今も廃止出来ずに四五〇名おり、市の広報紙の配布に当っている(報酬年間総額八〇〇万円位)従つて町会長は共同募金等金集めに関する仕事が大部分である。



福井市の場合

1 福井市自治会連合会(全市)

市の総務課に事務局を置き課長が事務局長を兼ね、職員一名が事務を担当する。

2 地区自治会連合会(四二)

地区連合会毎に公民館があり非常勤の職員一名を配置、連合会活動の拠点としている。この職員は県市からの広報紙等を単位自治会長まで配布する役目を持っている。

3 単位自治会(一、四〇六)

平均世帯数五〇・五五世帯等を単位自治会長まで配布する。

海道南西沖地震・普賢岳地震等を単位自治会長まで配布する。
消防といわれる消防団に対する負担金のためである。この

区連協では1月中旬、各連合内会にて「区内全体にかかる諸問題アンケート」をとったところ、97件の要望等の提出があり、この取り扱いについては、今後この役員会及び全体会議で協議し解決していく予定でいます。

泉区連合町内会長協議会
会長 鷺尾栄一郎連合町内会長研修会
(サンファンパウティスタ号の前で)

仙台市連合町内会長会だより

自治会として認知している)
二、運営助成金等

市自治会連合会に対し、二三〇〇万円の助成であるが、この中には地区自治会連合会四二団体に対する助成金九〇〇万円が含まれている。地区連合会に対しでは、市連合会より世帯割で配分する。単位自治会に対しては、世帯数×九〇〇円の世帯割十ー〇〇世帯未満一〇、〇〇〇円、それ以上は一五、〇〇〇円の均等割を交付している。

三、表彰等

概ね仙台市の場合と同様であるが、感謝状ではなく全部表彰となつている。

四、行政嘱託員

単位自治会長全員を「福井市行政嘱託員」として委嘱、身分は非常勤の特別職とし無報酬であるが自治会業務に従事中の事故等災害については公務災害を適用することとしている。

五、その他の要点

自治会費は一世帯月五〇〇円から一・五〇〇円位であるが、これは地区毎にある公民館の運営費（人件費を含む）及び其募等各種募金がこの中に含まれている。

このように毎月の負担が多いことと、会費の集金が大変なため自治会長になる人がなく、殆んどの自治会長の任期が一年となる



つてている。(とか二年位にし
たいとの連合会長の意見であ
った。

今年度は普賢岳災害と北海道南西沖地震災害に対する義援金を封筒募金した結果、予想を上回る資金が集まつたので役員が現地に赴き交付した。

六、全国自治会連合会について
金沢市、福井市とも全国自治会連合会に加盟しており、自治会活動に対する賠償問題については、全国自治会によ

る「全国市長会賠償保険」によ
つて対応することになつてお
り問題はないことである。

なお本会の大きな目的としているのは、重要な自治会活動に対し現在叙勲の制度が適用されていないが、これを認めさせる運動を展開中である。ことでいたが仙台市の連合町内会としても、賠償問題と併せ急ぎ検討を要する事項ではなかろうかと感じた次第である。

新しい杜の都づくり 市民協議会について

会長 石田名香雄

昭和三十七年に健康都市宣言がなされて以来、これまで健康都市建設協議会が中心となつて市民運動を展開してまいりました。花いっぱい運動、まちぐるみ清掃など市民あげて様々な活動を実践し、杜の都・仙台のまちづくりに大きな成果を上げてまいりました。

しかし、政令指定都市への移行とともに、経済活動が一段と活発化するなど、仙台市を取り巻く状況は大きく変化しております。また、仙台市は地球環境という極めて今目的かつ深刻な問題をはじめ、国際化、情報化、高齢化等の重要な諸問題に直面しております。

そのような諸課題を解決しながら、住みよく、また、市民一人ひとりが誇りの持てる新しい杜の都・仙台を創造し、それを

昨年の五月二十五日に「新しい杜の都づくり青葉区協議会」が設立されたのをはじめとして六月初めまでに五区にそれぞれ区協議会が設立され、「区民まつり」や「ほたるの里づくり」、「地元学講座」など地域に根ざした様々な事業を行つております。

これまで区協議会の活動が先行しておりましたが、市民協議会でも二月には仙台市と共に催され、「まちづくりシンボジウム

会は、仙台市が直面しているまちづくりの諸課題を市民の立場で受け止め、市民の自發的発想と自主的な活動により新しい杜の都づくりを推進することを目的に建立されました。

会は、このような背景のもとに健康都市建設協議会を発展的に解消し、市民が主体となつてまちづくりを行うために設立された組織でございます。

また、真に住み良いまちを創るためにには、そこに住む市民の参加と協力が欠かせません。新しい杜の都づくり市民協議会では、区において新しい杜の都づくりの実践活動を行うために参加協議会を設置いたしております。

区毎に協議会を設置いたしております。

このまでは区協議会の活動が先行しておりましたが、市民協議会でも二月には仙台市と共に催され、「まちづくりシンボジウム

